

2019 年度推薦入学者選考実施内容

会津大学短期大学部 食物栄養学科

本学科では以下の内容で 2019 年度の選考を実施しましたので、参考にしてください。

記

【小論文課題】

[出題の内容とねらい]

問題 1 (英文の読解)

本学科の教育を受ける能力があるかどうかを判断するため、高校で学んだ英語の習熟度と共に栄養、健康に関する知識、理解度を問う。

出典：CONSTITUTION OF THE WORLD HEALTH ORGANIZATION より抜粋

問題 2 (小論文)

本学科の専門教育を受ける能力があるか、およびアドミッションポリシーに適合しているかを判断するため、食物栄養に関係する記事(図表入り)を読ませ、理解力、表現力等を評価する。

出典：「学校歯科保健と食育 ～基本的な 8 つの Q & A～」、柘植紳平、学校給食 Vol.68 No.756、全国学校給食協会発行、p 31～36、一部改変

[採点のポイント]

問題 1 (英文の読解：15 点)

- 問 1 本文を読み健康を定義している項目であることを理解できるか。
- 問 2 本文全体の内容を正しく理解できているか。
- 問 3 WHO (世界保健機関) について知っているか。
- 問 4 問いに対応する部分を見つけ出し、理解した上で説明ができているか。

問題 2 (小論文：30 点)

- 問 1 図 1 について、中学校におけるむし歯(う歯)のある者の割合および 12 歳における永久歯のむし歯等数の推移を読み取ることができる。
- 問 2 図 1 と図 2 から、学校保健におけるむし歯の推移(全体と個人)について読み取ることができる。

問3

- ・健康の保持増進・生活習慣病予防のための健康教育の視点を持っている。
- ・自分の意見を論理的に書くことができる。

【面接】

[面接の形態]

- ・個別面接とする。
- ・遠方の受験生から順に実施し、面接時間は一人当たり約15分とする。

[質問の内容とねらい]

- ・食物栄養学科を選択した理由、専門（食物と栄養）に対する関心度、食物栄養学科で取得できる資格の理解度、これらの資格を取得しようとする熱意に評価の力点を置く。
- ・志望に対する熱意、卒業後の進路、高校での活動状況等について質問する。
- ・食物栄養学科で学ぶための気力、体力、能力があるかどうか。
- ・他の学生と協調し合って実験・実習及びゼミ活動を展開できるかどうか。

[採点のポイント]

- ・面接の際、推薦書および調査書などにに基づき、上記の活動状況について質問し50点満点で評価する。
- ・各面接委員の評価点を平均した値を点数とする。

【調査書】

[採点のポイント]

- 「生徒会活動・部活動」「ボランティア活動」「スポーツ・文化活動での受賞」
- 「出席状況」「学科関連検定資格取得」等を考慮する。